

## ふるさと常葉会 ふるさとへの思い、総会で改めて

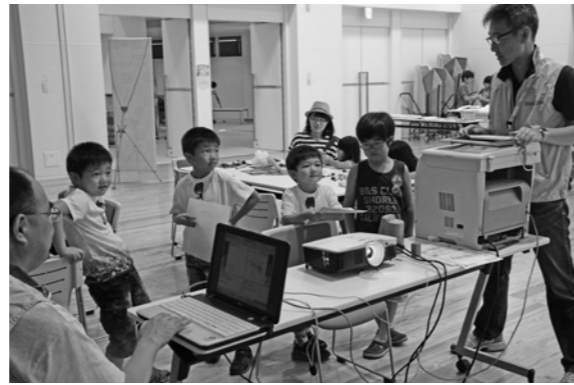


7月9日、第31回ふるさと常葉会総会が東京都千代田区の東海大学校友会館で開かれ、会員・関係者合わせて約90人が出席しました。渡邊英雄会長があいさつし、本田市長、東京都中野区の田中大輔区長などが祝辞を述べた後、今年度の事業計画が承認されました。また、会の発展に功績があったとして、前会長の白岩常志さん、前会長代行の椎名千恵子さん、名誉相談役の白石勝美さんに感謝状が贈られました。懇親会では、常葉中学校校歌を熱唱したり、常葉盆踊りを踊ったりして、出席者はふるさとに思いををせていました。

## 田村っ子まつり 子どもたちが自然や科学とふれあう

7月16日、「田村っ子まつり2017」が市役所で行われ、約1500人の親子連れが自然や科学とのふれあいを楽しみました。このイベントは、震災や原発事故の影響で自然や科学とふれあうことが少なくなった子どもたちのために、「田村っ子の生きる力を育む会」（佐藤健吉会長）が毎年開いているもので、今回で4回目になります。

特に、リコージャパンのイベントブースで行われた「熱闘！紙バトラー」が人気を集めました。子どもたちは、自分で描いたモンスターキャラクターをスクリーン上で闘わせては、勝敗に一喜一憂して楽しんでいました。



## 中学生夏季英語研修 中学生が外国文化を体験



7月29日から31日まで、平成29年度中学生夏季英語研修が天栄村のブリティッシュヒルズで行われ、市内の中学校1・2年生28人が参加しました。外国人スタッフと積極的に英語で会話したり、外国文化を体験したりすることで、参加者は英語によるコミュニケーション能力と国際性を高めることができました。

参加者からは「最初はドキドキして話しかけられなかったが、3日目には恥ずかしがらずに英語で話せた」「この体験をこれからの中学校生活に生かしていきたい」といった感想が聞かれました。また、他校の参加者とも交流を深めることができました。

## 農産物トップセールス 市の農産物を首都圏でPR

7月21・22日、田村市、郡山市、いわき市、三春町、小野町とJA福島さくらが東京都内で農産物のトップセールスを行いました。

21日には市場関係者と意見交換会を開き、今後の販売方針について話し合いました。市場関係者からは「インゲンの質は国内トップクラスなので、品質を保ってほしい」「夏野菜全般も着実に出荷してほしい」といった要望がありました。

22日にはスーパーマーケットで販促活動を行い、先着で記念品を配るなど農産物のPRに努めました。首都圏の消費者には、特にトマトやピーマンなどが好評でした。

市では今後も、農産物のPRに努めていきます。



## 都路 福寿草大学 口を動かして、もっと健康に

7月13日、都路公民館高齢者学級「福寿草大学」の第2回定例講座「健康音楽講座」が都路公民館で開かれ、受講生24人が参加しました。講師に福島県生涯学習インストラクターの橋本恵津子さんを迎え、口の周りを動かすことが健康につながることを学びました。実際に口だけを動かしてじゃんけんしたり、音楽に合わせて歌ったり、カウベルやハンドベルを使ってリズムを取りながら歌ったりするなど、楽しく学習することができました。



## 滝根 あぶくま大学 “海の宝石箱”に感動



7月20日、滝根公民館高齢者学級「あぶくま大学」の第3回学習会がいわき市内で行われ、61人が参加しました。アクアマリンふくしまでは、「潮目のトンネル」をくぐりながら、自然の環境を再現した「潮目の大水槽」で海洋生物を観賞しました。潮目の大水槽は、親潮と黒潮が会う潮目の海を表したもので、福島県の海の特徴でもあります。参加者は「海の宝石箱のようだ」と感動を述べていました。

その後、「いわき・ら・ら・ミュウ」で海の幸を味わい、有意義な一日を過ごしました。

## 市長旗争奪ソフトボール大会

7月23日、第12回田村市長旗争奪ソフトボール大会が滝根運動場（1部、6チーム参加）と大越つつじヶ丘運動公園（2部、7チーム参加）で行われました。結果は次のとおりです。



## 大越 青少年健全育成市民会議 夏休みに子どもの健全育成

7月23日、田村市青少年健全育成市民会議大越支部主催の第8回子ども会グラウンドゴルフ大会・魚つかみ大会が大越町つつじヶ丘運動公園で開かれました。この催しは、夏休みの青少年の健全育成と体力づくりを目的に、毎年開かれています。

グラウンドゴルフ大会には約50人、魚つかみ大会には約80人の子どもと保護者が参加し、歓声を上げながら楽しい時間を過ごしました。

